



「第122回 香住小学校学校創立記念日」 10月1日

明治28年(1895年)9月1日、香住・森・下浜・一日市の尋常小学校が合併し、香住尋常小学校となり、さらに10月1日、高等科が設置され香住尋常高等小学校となり、この日をもって本校の創立記念日としました。以来、今年



で122周年となります。学校のシンボルであった大松の下に、本校が創立されて以来、大松のごとくの質実剛健の精神は、校訓「至誠・剛健・協同」として卒業生の胸にも、貴重な人生の標(しるべ)として生き続けています。先日、3年生が環境学習のひとつとして香住海水浴場に漂着物調査に出かけました。活動する周りには子ども達を見守るかのように大松二世の松林が広がっていました。また、しおかぜホールに行き、学校の宝であるスタインウェイのピアノを見るたびに、復活プロジェクトにいただいた多くの町民の皆さんの学校への熱い想いを感じずにはられません。

創立記念日を振り返り、先人の労苦と町民の皆様の気持ちに感謝しながら、もう一度、子ども達と大切なことを考える機会としたいものです。

○後期児童会役員に立候補して

後期児童会役員に、6年生16名、5年生9名が立候補しました。かつてない多くの立候補者で立会演説の日は時間を延長して熱のこもった訴えを聞くことができました。特に、あいさつ、いじめ、笑顔、転校生、楽しいのキーワードが多く候補者から聞くことが出来ました。それぞれが学校の課題としっかり向き合っていることを確かめることができ、とても頼もしく思いました。中には、「あとしまつ」としてトイレのスリッパをそろえることを訴えていた候補者もいました。選挙の結果、5・6年生それぞれから4名ずつが選ばれ、児童会活動を引っ張っていってくれます。選ばれなかった人の気持ちも受け取りながらがんばってくれることでしょう。また、25名のやる気のある児童がいるということが、学校の大きな宝です。きっとそのやる気を次の場面で活かしてくれることでしょう。



○自然学校が始まりました。

5年生48名は、25日から「感じよう！自然のめぐみ・仲間との絆」～力を合わせて キラキラ輝け 5年生～ をテーマに自然学校に出発しました。初日は三田浜で香住高校生の皆さんの指導の下、磯観察をしました。また、香住ロータリークラブの皆さんにお世話になり地引網とその後の海のめぐみを体験しました。年齢の近い地元の高校生との活動ということで、昨年以上に熱心に磯観察と生き物探しに取り組みました。



海での活動を満喫して、山への活動に移っていきました。晴れの日もあり雨の日もあり、登山や飯盒すいさんテント泊等、さまざまな自然学校での5日間の活動を通して、またひとまわりたくましくなっかってきてくれるでしょう。